

衆議院外務委員会ニュース

【第208回国会】令和4年3月23日（水）、第6回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

・ 林外務大臣、鈴木外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）辻清人君（自民）、吉田宣弘君（公明）、松原仁君（立民）、太栄志君（立民）、和田有一朗君（維新）、杉本和巳君（維新）、穀田恵二君（共産）、鈴木敦君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

辻清人君（自民）

- （1）ゼレンスキー・ウクライナ大統領が米国議会における演説で真珠湾攻撃に言及したことに対する外務省の対応
- （2）ウクライナ及びロシアにおける在留邦人の退避状況
- （3）我が国に入国したウクライナからの避難民の人数
- （4）ウクライナ避難民を受け入れている周辺国への支援に自衛隊機を活用する可能性
- （5）岸田総理のインド及びカンボジア訪問の意義

吉田宣弘君（公明）

- （1）国際機関を通じたウクライナ及び周辺国に対する人道支援の更なる強化の必要性並びに女性や妊婦を守る環境整備及び子供の健康支援等の必要性
- （2）モルドバなどウクライナ人が避難している周辺国への支援の必要性
- （3）国際機関のみならず政府によるNGO経由で人道支援を行う必要性
- （4）在留ウクライナ人の在留期間延長及び本人の意思に反する送還を行わないよう対処する必要性
- （5）日本への入国を希望するウクライナからの避難民に対し身元保証人の免除や長期滞在可能な在留資格付与など新たな制度を構築する必要性
- （6）ウクライナからの避難民に日本語教育の機会を無償で提供する必要性

松原仁君（立民）

- （1）米中首脳テレビ電話会談（R4.3.18）について中国がロシアに対し経済支援を行った場合に米国が対中制裁を実施する可能性及びその場合の我が国の対応
- （2）国連安全保障理事会の対応
 - ア 国連安保理常任理事国の拒否権により安保理が機能不全に陥ることを防ぐため国連改革を進める必要性
 - イ バイデン米大統領が警戒する「第三次世界大戦」の具体的なイメージ
 - ウ 米国が他の国連安保理常任理事国の行動を抑制できなくなる危険性について林外務大臣の見解
 - エ 我が国が国連安保理常任理事国から侵略された場合に米国が共同対処する可能性
- （3）ロシア軍によるウクライナの学校等民間施設への攻撃がジェノサイドに該当する可能性
- （4）他国からの武力攻撃に対する我が国の防衛体制
 - ア 専守防衛を掲げる我が国において他国からの攻撃に対する防衛省・自衛隊の対応及び我が国に対する「武力攻撃」の発生を認定する手続
 - イ サイバー攻撃を含む他国からの攻撃をインテリジェンスにより事前に対処する態勢の必要性
 - ウ 攻撃中に撤退する敵国部隊に対する自衛隊による武力行使の可否

- (5) 尖閣諸島
 - ア 尖閣諸島が米国統治下に置かれるまでの歴史的経緯
 - イ 沖縄返還と同時に尖閣が返還された際我が国政府が適切な管理をしてこなかった理由
 - ウ 尖閣諸島周辺海域における中国公船の活動状況及び我が国の対応
- (6) 東シナ海での中国による一方的な資源開発
 - ア 我が国の排他的経済水域（EEZ）内の資源埋蔵量
 - イ 東シナ海のEEZの境界画定に関する我が国及び中国の主張
 - ウ 境界が未確定の海域での中国による一方的な資源開発に対しては外為法上の要件を踏まえて経済制裁を科す必要性
- (7) 中国の反外国制裁法やロシアの情報統制といった独裁的な国家に対し当該国リーダーの個人資産を凍結する仕組みについてG7で取り組むよう林外務大臣が働きかける必要性

太栄志君（立民）

- (1) ウクライナ情勢
 - ア ロシア外務省が我が国との平和条約締結交渉を打ち切ると発表したことに対する林外務大臣の見解及び今後の対応
 - イ ロシア経済分野協力担当大臣のポストの廃止及びロシアとの8項目の協力プランの予算執行を停止する必要性
 - ウ 国連安保理からロシアを除名するよう我が国が国連に発議することについて林外務大臣の見解
 - エ 中国がロシアに軍事的支援を行った場合の対中制裁措置についての検討状況
- (2) 韓国で尹錫悦（ユン・ソンニョル）新大統領が誕生する中での我が国の外交・安全保障政策
 - ア 我が国の外交戦略上における韓国の重要性及び日米韓三か国による安全保障協力の在り方
 - イ 尹次期大統領による日米豪印（いわゆるクアッド）への参加意向表明に関する林外務大臣の見解
 - ウ 日韓秘密軍事情報保護協定（GSOMIA）の運用拡充を含む日韓間の防衛協力の在り方
 - エ 駐日韓国大使と我が国の総理や外務大臣との面会が行われていない状況が続いている理由
 - オ 韓国で新政権が誕生する際の我が国からの特使派遣の準備状況
- (3) 日米地位協定の環境補足協定の実効性

和田有一朗君（維新）

- (1) 令和3年度外務省所管補正予算「在外公館における邦人保護体制強化のための緊急対策」費用を目的に適うよう使用する必要性
- (2) 台湾によるTPP11協定への加入申請
 - ア 台湾のTPP11協定加入に係る課題及び日台間の二国間協議の状況
 - イ 台湾のTPP加入について林外務大臣の見解及び台湾とのFTA締結に係る課題
- (3) 日中共同声明
 - ア 日中共同声明にある「中華人民共和国政府の立場を十分理解し、尊重し」と台湾との関係
 - イ 日中共同声明第6項にある「武力により威嚇」しないとしつつ中ロ海軍が対馬海峡を通行していることに対する林外務大臣の見解

杉本和巳君（維新）

- (1) ウクライナ在留邦人の退避のためのチャーター機手配等の状況及び避難に要する費用に予備費を活用する必要性
- (2) ウクライナ及びロシアにおける政府臨時代理第一順位に当たる人物の名称及び人物像

穀田恵二君（共産）

- (1) キャンプ・ハンセンにおける新型コロナウイルス感染症のクラスター発生（2021年12月22日）に関し米国側が行ったオミクロン株の検査のゲノム解析が米国側から示されない理由
- (2) 在日米軍の新型コロナウイルス感染症の出国前検査の免除（2021年9月3日）
 - ア 免除に関する在日米軍から我が国への通知の形式
 - イ 2021年9月3日にラップ在日米軍司令官が出した命令書について林外務大臣の認識及び外務省が在日米軍の出国前検査の免除を確認したのは12月24日としていることとの整合性
 - ウ 上記イの命令書の附属書である外務省日米地位協定室長の書簡に記載されている在日米軍の入国許可条件について米国側の認識
 - エ 上記ウの書簡と出国前検査の免除との関係
- (3) ロシアによるウクライナ侵略に対し国際世論によりプーチン政権を包囲する取組について林外務大臣の所感

鈴木敦君（国民）

- (1) 対中国政策
 - ア 2008年合意に基づく東シナ海資源開発の進捗状況
 - イ 尖閣諸島周辺にいる中国海警局の船への対応
 - a 日中間での海空連絡メカニズムによる連絡体制の状況及び政府の認識
 - b 海警局が尖閣諸島周辺で行政権を行使しようとした場合の我が国から中国への抗議ルート
 - ウ ロシアが進める資源開発事業から我が国が撤退した場合に中国が間隙をついてその権益を移転させる危険性について林外務大臣の認識
- (2) 世界が民主主義を重んじる国と専制国家のような国との戦いの局面に入っているという考えについて林外務大臣の見解
- (3) ロシア軍艦艇による津軽海峡横断（2022年3月16日）
 - ア 我が国が周辺国として津軽海峡を封鎖することについての国際法あるいは国内法的な見解
 - イ ロシア軍艦艇に公海を通過させないことをG7で議論することについて林外務大臣の見解